



7 私たちの寄付金を活用し、社会のために良いことをしよう

- 寄付金は善意溢れる小さな好意です。でもそれが集まると大きな事業が出来ます。社会に貢献することは私たちの使命です。

そのために

ロータリー財団や米山記念奨学会に寄付をして、

- (1) ロータリー財団からの補助金を積極的に活用しましょう。
- (2) 世界の平和のために、米山奨学金を利用し留学生を支援しましょう。

8 寄付の大切さを知り、各自の寄付額を充実させよう

- ロータリアンは寄付の大切さを知っています。その効果的な使い方もよく知っています。社会に対して私たちは寄付金を利用してどのように貢献していくのがよいのかを考えましょう。

そのために

- (1) ロータリー財団への寄付金 1 人あたり 150ドル以上を維持しましょう。
- (2) 「もう少し」 ポリオ撲滅のため、同寄付金 1 人あたり 30ドル以上を維持しましょう。
- (3) 米山奨学寄付金 1 人あたり 16,000 円以上を維持しましょう。

2018-2019 年度 国際ロータリー第 2840 地区運営方針

クラブを元気に、世界に奉仕を、みんなで回そうロータリーの輪
Energize our Clubs, and Serve the World, engaging Rotary with Society

【趣旨】

ラシン会長エレクトの方針に基づき、「クラブを元気に、世界に奉仕を、みんなで回そうロータリーの輪」*Energize our Clubs, and Serve the World, engaging Rotary with Society* を掲げました。RI の方針は、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上であります。これを受けて、上記のスローガンを掲げます。まずは、会員を増強し、親睦を図り、元気で楽しいクラブを作り、次に、地域社会や世界のニーズに応えた奉仕活動をし、結果的に、ロータリーの公共イメージと認知度を向上させることです。その原点が「インスピレーション」であります。Together, Take action, Connection, Transform or Change という RI のキーワードを具現化します。

英語文の *engaging Rotary with Society* の部分は、「ロータリーの歯車を社会の歯車としてしっかり噛み合わせて」というニーズへの対応と社会との連携 (connection) の意味合いです。